



トラブル回避で、 今からできることって？



伊藤 春美 和子 里歌

和子さんが、親から財産を相続してはや10年。でも数十年後には、今度は子どもたちに相続する日がやってきます。「トラブルなく、無事に引き継いでもらうためにはどうすれば？」そんな疑問で頭がいっぱいの和子さん。今回も大張りきりの伊藤先生です。



いとう・りょうた(伊藤亮太)
スクラージュ副社長。CFP®、DC
アドバイザー、証券外務員資格など
証券会社勤務後、2007年11月に
独立系FP会社スクラージュを設
立。マネー・ライフプランニングの提
案、保険の見直し、証券取引所など
の資産運用に関する講演など多
方面で活躍。資産運用や保険など
に関する書籍も多数執筆
FP伊藤亮太のサイト
<http://www.ryota-ito.jp>
スクラージュジャパン
<http://www.skirr-jp.com>

和子 いきなりで悪いんだけど、みんな、相続対策ってしてる？
里歌 してるわけないわよ。そんな財産ないし...
春美 でも、まとまった財産が自宅だけだと、財産の分割でもめるって聞いたことあるわよ
和子 そーなの。うちもそろそろ準備をしておこうかと思ってる
里歌 和子、どうしちゃったの？確かに、あとで問題が起きるのも悲しいし、準備するに越したことはないと思うけど...
和子 でしょ。財産が原因で、家族が対立なんて嫌だから、今から、いろいろ考えておきたいの。どうでしょう、先生

伊藤 そうですね、円滑に財産を引き継ぐためにも、早めに準備をさ



ライフイベント表の例

	2011	2012	2013	2014	2015	2016	2017
宮本一郎	36歳	37歳	38歳	39歳	40歳	41歳	42歳
柱子	34歳	35歳	36歳	37歳	38歳	39歳	40歳
圭介	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10歳
イベント		幼稚園入園		小学校入学		住宅購入	
必要資金		20万円		20万円		頭金 1,000万円	

また、ローンなど債務に関しても、しっかり把握しておきましょう。そうすると、現時点でどんな相続財産が、どれくらいあるかを把握できますよね
里歌 なんかおもしろそう。今すぐやってみよう
伊藤 次に、図表のように今後のライフイベントを書いてみてください。たとえば、子どもがいつ高校や大学に入学するのか、夫婦が老後を過ごすのに必要な生活費など、希望も含めて書いてみます。そうすると、それに必要な金額を算出することができます。そして今の収入や財産でそれに必要な費用をまかなえるのか、またまかなえないとして、どれだけの資産が残るそうな

のかを合わせて確認してみてください。もちろん計画通りに進むとは言いきれませんが、定期的に練り直す必要は出てくると思います
春美 事業をやっている場合、会社のことでも考えておく必要がありますよね？
伊藤 その通りです。経営計画はもちろん、後継者の育成や引き継ぎの時期、持ち株をどうするかなどの検討も大切です
里歌 それ以外に、何かやっておくことはありますか？
伊藤 今まで何回もお話してきましたが、保険に加入しておくことで、残された家族が生活資金を確保できますし、相続税対策として活用することもできます。また、遺言

書を作成しておくことも検討するとよいでしょうね。こうした点については、私たちFPに相談いただければ、いろいろアドバイスを差し上げることができます
和子 様々な準備を、長い期間かけてやっておかないといけないわね。先生、今日もありがとうござい

和子 じゃあ、どんなことをしてあげればいいんですか？
伊藤 まずは、現状の把握です。和子さんの場合、親から受け継いだ財産も含め、今、所有されている財産に何があるのか、書き出してみてください。自宅、株式、保険など金額の大きいものに関しては漏れがないように注意してくださいね。

れておくほうがよいと思います。相続財産がいくらあるのかという点ももちろんですが、何があっても受け継ぐかといった点を明確にしなが、プランニングをすべきだと言えますね

里歌 でも、今相続が起きるわけじゃないですよ。財産の価値も変わるでしょうし、誰にあげるのかに

して、途中で気が変わることもだつてあると思うんですが...
伊藤 もちろんそういうことも考えておく必要がありますよね。だけど、相続がいつ発生するかなんて、誰にもわかりません。いつでも問題なくスムーズに財産を引き継げるようにしておくことが重要といえます